

作成日1996年6月1日
改定日2008年4月4日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名:	エスダインUX-80
会社名:	積水フーラー株式会社
住所:	〒526-0056 滋賀県甲賀市水口町泉1259
担当部門:	技術課
電話番号:	0748-62-8154
緊急連絡電話番号:	0748-62-8154
FAX番号:	0748-62-8174
緊急連絡先:	上記担当部門
推奨用途及び使用上の制限:	ラッピング用接着剤 所定の用途以外には使用しないこと
整理番号:	UR-048

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外	
	可燃性・引火性ガス	分類対象外	
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	区分外	
	可燃性固体	分類対象外	
	自己反応性化学品	分類対象外	
	自然発火性液体	区分外	
	自然発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	分類対象外	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
		急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性・刺激性		区分2	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分2A	
呼吸器感作性		分類できない。	
皮膚感作性		分類できない。	
生殖細胞変異原性		区分外	
発がん性		区分2	
生殖毒性		分類できない	
特定種の臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器)、区分3(麻酔作用)		

環境に対する有害性
 絵表示又はシンボル:

特定標的臓器・
 全身毒性(反復
 ばく露)
 吸引性呼吸器有害性
 水生環境急性有害性
 水生環境慢性有害性

区分1(中枢神経系、肝臓)
 区分外
 区分2
 区分2



注意喚起語:
 危険有害性情報:

危険
 飲み込むと有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 発がんのおそれの疑い
 中枢神経系、呼吸器の障害
 眠気又はめまいのおそれ
 長期又は反復ばく露による中枢神経系、肝臓の障害
 水生生物に毒性
 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き:

製品安全データシート(MSDS)や、取扱説明書などを確認の上、ご
 使用ください。
 皮膚に付着したり、蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすお
 それがあります。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗い、直ちに医師の診断を受
 けること。
 誤って飲み込んだ場合は、吐き出し、口をすすぐと共に直ちに医師の
 診断を受けること。
 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石
 鹸で洗うこと。
 取り扱い後は、手洗いを十分行ってください。
 取扱い作業場所は、局所換気装置を設けて作業をすること。
 防毒マスク又は、送気マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
 使用後の容器は、密栓し涼しく換気の良い場所で保管すること。
 幼児、児童の手の届かない所に、施錠して保管すること。
 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専
 門の廃棄物処理業者に委託する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
 化学名又は一般名： ポリウレタン樹脂系溶剤形接着剤

成分	含有量	CAS番号	官報公示整理 番号(化審法・ 安衛法)
ジクロロメタン	71%	75-09-2	(2)-36
ポリウレタン樹脂等	29%	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息
 させること。
 必要に応じて医師の診断、手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合： 皮膚を速やかに洗淨すること。

目に入った場合:	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。 皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	直ちに水で口の中を洗浄すること。 直ちに医師の診断、手当てを受けること。 無理に吐かせないこと
予想される急性症状及び遅発性症状:	目、皮膚に対する接触で発赤、痛み、薬傷、吸入により、めまい、しびれ、頭痛、吐き気、脱力感、意識喪失
応急措置をする者の保護:	救助者は、状況に応じて適切な保護具(有機溶剤用の防毒マスク等)を着用する。
医師に対する特別注意事項:	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤:	炭酸ガス消火剤、粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤:	棒状注水
特有の危険有害性:	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法:	火元への燃焼源を断ち、消化剤を用いて消火する。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。 延焼の恐れのないように、周囲の設備などに散水して周辺を冷却する。 消火活動は可能な限り風上から行い、状況によっては呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
環境に対する注意事項: 回収、中和:	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 大量の場合、盛土で固めて流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:	吸入・接触のおそれがあるときは適切な保護具を使用する。
局所排気・全体換気:	取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。
安全取扱い注意事項:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 蒸気、ミスト、スプレーを吸入してはならない。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

保管

保管条件:	冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。 施設して貯蔵すること。
-------	-----------------------------------

8. ばく露防止及び保護措置

<p>設備対策:</p> <p>管理濃度:</p> <p>許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):</p> <p style="margin-left: 20px;">日本産衛学会(2005年版)</p> <p style="margin-left: 20px;">ACGIH(2005年版) TLV-TWA</p> <p>保護具</p> <p style="margin-left: 20px;">呼吸器の保護具:</p> <p style="margin-left: 20px;">手の保護具:</p> <p style="margin-left: 20px;">眼の保護具:</p> <p style="margin-left: 20px;">皮膚及び身体の保護具:</p> <p>衛生対策:</p>	<p>蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>50ppm</p> <p>50ppm</p> <p>50ppm</p> <p>有機ガス用防毒マスク</p> <p>不浸透性保護手袋</p> <p>有機溶剤対応型ゴーグル</p> <p>長袖作業着</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
---	--

9. 物理的及び化学的性質

<p>物理的状态、形状、色など:</p> <p>臭い:</p> <p>pH:</p> <p>沸点、初留点及び沸騰範囲:</p> <p>引火点:</p> <p>比重(密度):</p> <p>自然発火温度:</p> <p>粘度:</p>	<p>黄褐色粘稠液体</p> <p>特有の刺激臭</p> <p>該当せず</p> <p>40°C(沸点)</p> <p>空气中で引火せず</p> <p>約1.3</p> <p>550°C以上</p> <p>約10000mPa·s</p>
--	--

10. 安定性及び反応性

<p>安定性:</p> <p>危険有害反応可能性:</p> <p>避けるべき条件:</p> <p>混触危険物質:</p> <p>危険有害な分解生成物:</p>	<p>加熱や燃焼により分解し、有毒ガス(塩化ビニル、塩化水素、ホスゲン、一酸化炭素)を生成する。</p> <p>強酸化剤、強塩基、アルミニウム粉末、マグネシウム粉末、ナトリウム、カルシウムなどの金属等と激しく反応し、火災や爆発を引き起こすおそれがある。</p> <p>高温へのばく露強酸化剤、強塩基、アルカリ金属、金属粉末との接触</p> <p>強酸化剤、強塩基、アルカリ金属、金属粉末との接触</p> <p>塩化水素、ホスゲン等の有害ガス</p>
--	--

11. 有害性情報

<p>急性毒性(経口):</p> <p>急性毒性(経皮):</p> <p>急性毒性(吸入:ガス):</p> <p>急性毒性(吸入:蒸気):</p> <p>急性毒性(吸入:粉塵、ミスト):</p> <p>皮膚腐食性・刺激性:</p> <p>眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:</p> <p>呼吸器感作性又は皮膚感作性:</p> <p>生殖細胞変異原性:</p> <p>発がん性:</p> <p>生殖毒性:</p> <p>特定の臓器・全身毒性(単回ばく露):</p>	<p>混合物の推定値ATE_{mix}=1600mg/kgから区分4に分類される。</p> <p>経皮に関するデータなし。</p> <p>GHSの定義による液体のため分類対象外。</p> <p>混合物の推定値ATE_{mix}=18000ppmから区分外に分類される。</p> <p>粉塵、ミストに関するデータなし。</p> <p>区分2を10%以上含むため、混合物として区分2に分類される。</p> <p>区分2Aを10%以上含むため、混合物として区分2Aに分類される。</p> <p>呼吸器感作: データなし。</p> <p>皮膚感作性: データなし。</p> <p>混合物として区分外に分類される。</p> <p>区分2を0.1%以上含むため、混合物として区分2に分類される。</p> <p>生殖毒性に関するデータなし。</p> <p>各区分を各々1%以上含むため、混合物として区分1(中枢神経系、呼吸器の障害)区分3(眼気またはめまいのおそれ)に分類される。</p>
--	---

特定種の腐敗・全身毒性(反復ばく露): 区分1を1%以上含むため、混合物として区分1(長期又は反復ばく露による中枢神経系、肝臓の障害)に分類される。

吸引性呼吸器有害性: 40℃動粘性率が20.5mm²/S以上のため区分外に分類される。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性: 区分2成分を25%以上含むため区分2に分類される。

水生環境慢性有害性: 区分2成分を25%以上含むため区分2に分類される。

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装: 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報 非該当

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 航空法の規定に従う。

国連番号: 2810(その他の毒物)

国連分類: クラス6.1

特別の安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法: 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2) (ジクロロメタン)

名称等を表示すべき有害物(施行令第18条) (ジクロロメタン)

第2種有機溶剤等(有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) (ジクロロメタン)

変異原性が認められた既存化学物質(労働省通達 基発第770号の) (ジクロロメタン)

消防法: 該当せず

化学物質管理促進法(PRTR法): 第1種指定化学物質 ジクロロメタン 政令番号第145番

毒物及び劇物取締法: 該当せず

16. その他の情報

【ホルムアルデヒド放散等級】 F☆☆☆☆

国土交通大臣認定番号:MFN-0511 (建築基準法施工令第20条の5第4項の規定による)

4VOC放散速度基準(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定
JAL401470 4VOC基準適合

引用文献

- 1) 化学物質等安全データシート(MSDS)-第1部:内容及び項目の順序
- 2) 製品安全データシートの作成指針(改訂版)、社団法人日本化学工業協会
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 化学物質の危険・有害性便覧 中央労働災害防止協会

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成いたしておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする等の場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。